

教会創立104周年

週 報

2026年9月13日 5411週

【今年度のテーマ・聖句】

神の愛によって生きるキリストのからだ
「見よ、兄弟たちが共に座っている。
なんという恵み、なんという喜び。」
(詩編133編1節)

巻頭言

牧師 加藤英治

敬老祝福の時にあたつて

「わたしは今、この世のすべての者がたどるべき道を行こうとしている。」
(ヨシュア、ヨシュア記23・14)

「わたしはこの世のすべての者がたどる道を行こうとしている。」(ダビデ、列王記上2・2)

「この世のすべての者がたどるべき道」、それは「年老い、やがて死んで行く道」のことです。それは、「この世のすべての者がたどる道」なのです。自分自身が、歳を重ねて行くことを実感し、また親の死などを経験して、このことをますます実感しているこの頃です。

聖書とその知恵が語る、「老いと死」とはどのようなものでしょうか。

まず、それは神の定めであり、摂理であるということです。神が、そのように人間を限りあるもの、限界に向かって日々歩み生きる者として創られたのだと思います。だからそれには、神が定められた意義と目的があるのです。

「聖書の信仰においては、ユダヤ人自身は、老齢化を、時間の経過における、ただ単なる敗北と罰と取り消すことのできない衰弱であるとは理解しない。老齢化は、成長、祝い、聖化の時であることを意味する。老齢化によって、私たちが真実に人間とする神の現臨をもう一度経験する機会、アブラハムのように神に倣って義をもう一度追求する機会とすることができ。」(W. J. カール・ジュニア編『恵みにあふれて』より)

さらにキリスト者は、私たちの生と死の「導き手」「先達」として、イエス・キリストを知り、信じています。「主はわたしたちのために死なれましたが、それは、わたしたちが、目覚めていても眠っていても(注 生きていても、死んでいても、の意味)、主と共に生きるようになるためです。」(1テサロニケ5・10)「キリスト者は、母親の胎から墓に至るまで巡礼者である。それは、ただ、この地上において私たちには永遠の都がないからだけではなく——キリスト者の存在はキリストに従う不断の努力であり、その苦闘は墓のこちら側では決して終わることがない。」(同上)「私たちのこの「道」の上、その一歩先には、イエス・キリストがおられるのです。その苦難と十字架の死を経て、復活へと至り、神の国の主となられた方が、私たちのこの「道」を共に歩み、導いていくくださるのです。」

日本バプテスト シオン山教会

牧師：加藤英治

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-1

Tel:093-561-0772 Fax:093-561-0760

E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

HP-address: <https://bapzion.com>



◆ 主日礼拝

午前 10 時 30 分

教会 学校 月

日

司会 大森秀夫執事
奏楽 田中基子姉

前 奏
招 詞 I ペトロ 2 : 22 ~ 24
頌 栄 671 (ものみなたたえよ (A))
主の祈り (新生讃美歌の扉を参照)
交 読 37 (祝福)
讃 美 515 (しずけき河の岸辺を)
聖 書 サムエル下 16 : 5 ~ 14
(新共同訳旧 506 p 口語訳新 456 p)

祈 禱
子どもメッセージ 加藤英治牧師

教会学校アピール 成人科 A 田中登美子姉

讃 美 3 (あがめまつれ うるわしき主)
聖 歌 隊

敬老祝福祈祷 加藤英治牧師

宣 教 「幸いと祝福の神を思え」
加藤英治牧師

祈 禱
讃 美 545 (岩なるイエスは)
献 金 祈り : 畑間節子姉

(女性会 C)

◎今月の聖句

「わたしはあなたたちの老いる日まで
白髪になるまで、背負って行こう。わ
たしはあなたたちを造った。わたし
が担い、背負い、救い出す。」
(イザヤ書 46 章 4 節)

本日の集会

教会学校

幼小科

10 : 30 ~ 11 : 40

中高科、青年・成人科

9 : 30 ~ 10 : 15

主日礼拝の当番

受付 : 船津丸泰 田中登美子

お花 : 庄司まり子

会堂清掃 11 : 50 ~ 12 : 05

昼食 12 : 05 ~ 12 : 30

合同例会 12 : 30 ~ 14 : 00

教会の将来を考える会

14 : 00 ~ 15 : 00

◎今週の集会 (9 月 13 日 ~ 19 日)

<聖書>サムエル下 18 : 19 ~
19 : 1

16 日 (水) 祈祷会 I 10 : 30

祈祷会 II 19 : 30

(司会・奨励 加藤英治牧師)

今週の聖書日課と祈り

13 日 (日) サムエル下 16 : 5 ~ 14 藤田基司

14 日 (月) サムエル下 19 : 16 ~ 21 藤田義弥

15 日 (火) サムエル下 19 : 22 ~ 24 安河内眞智子

16 日 (水) 列王記 2 : 8 ~ 9 36 ~ 46 山内 真

17 日 (木) サムエル下 15 : 30 ~ 37 アカンビ彩

18 日 (金) サムエル下 16 : 15 ~ 23 安部優子

19 日 (土) サムエル下 17 : 1 ~ 14 磯部みゆき